

科目名	グローバル学習				
曜日・講時	月曜2限	教室	川北キャンパスC302		
科目群	全学教育科目先進科目－国際教育				
単位数	2.0単位				
対象学部	全				
担当教員（所属）	宿利 由希子 所属：高度教養教育・学生支援機構				
開講期	1/3/5/7セメスター				
科目ナンバリング	ZAC-GLB809J				
使用言語	日本語				
メディア授業科目					
主要授業科目	各学部の履修内規または学生便覧を参照。				
授業題目	【国際共修】おもしろい話とことば Funny Talks and Language				
授業の目的と概要	<p>「人を笑わせたいが難しい」「みんなは笑っているが自分はおもしろく思えない」…このような「おもしろさ」にまつわる困難は、個人の嗜好や言語能力によるのか、それとも社会文化的な背景が影響するのか。本授業では、日本人学生と外国人留学生が、おもしろい話を通して日本語や日本文化について考え、また他文化との比較や翻訳・通訳活動を行うことで、「おもしろさ」にかかわる多様性と共通性を学ぶ。</p> <p>(外国人留学生対象日本語プログラムの授業との合同開講、授業は日本語で行う)</p> <p>"I want to make people laugh, but it's too difficult." "Everyone else is laughing, but I don't find it funny."... Are these difficulties related to "fun" due to personal preference, language ability, or socio-cultural background? In this class, Japanese and international students will think about the Japanese language and culture using funny talks, and learn about the diversity and commonalities between Japan and other countries of "fun" through comparing with other cultures and translation activities. (This course is conducted in Japanese.)</p>				
学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語や日本の文化、価値観についての理解を深める。 ・留学生の出身国、出身地域の言語や文化、価値観についての理解を深める。 ・グループワークやグループ発表のため、日本人学生と留学生が協力する。 ・日本語でコミュニケーションする力を高める。 <p>-To deepen understanding of the Japanese language, culture, and values. -To deepen understanding of the language, culture, and sense of values of the international students' home countries and regions. -Japanese and international students cooperate for group work and group presentations. -To improve communication skills in Japanese.</p>				
授業内容・方法と進度予定	<p>第1回 授業説明、日本人はジョークで笑わない Orientation, "Japanese people don't laugh at jokes"</p> <p>第2回 おもしろい話の種類 Types of Funny Talks</p> <p>第3回 おもしろい話を話す人 People who tell Funny Talks</p> <p>第4回 おもしろい話の流れ Flow of Funny Talks</p> <p>第5回 おもしろい話の話し方 How to tell Funny Talks</p> <p>第6回 グループワーク①日本語でおもしろい話 Group work I "Funny Talks in Japanese"</p> <p>第7回 グループワーク①続き Group work I</p> <p>第8回 グループ発表① Group presentation I</p> <p>第9回 グループ発表① Group presentation I</p> <p>第10回 世界のおもしろい話 Interesting stories from around the world</p> <p>第11回 おもしろい話の通訳・翻訳 Translation of Funny Talks</p> <p>第12回 グループワーク②おもしろい話の通訳・翻訳 Group work II "Translation of Funny Talk"</p> <p>第13回 グループワーク②続き Group work II</p> <p>第14回 グループ発表② Group presentation II</p> <p>第15回 グループ発表② Group presentation II</p> <p>※変更する可能性があります。May change.</p>				
成績評価方法	<p>平常点（出席・クラス活動への参加等）：30% 発表2回：50% 期末レポート：20%</p> <p>Regular points (attendance, participation in class activities, etc.) 30% Two Presentations (50%) Final Report (20%)</p>				
教科書および参考書					
書名	著者名	出版社	出版年	ISBN/ISSN	資料種別
『限界芸術「面白い話」による音声言語・オラリ	定延利之編	ひつじ書房	2018	ISBN-13：978-4894769052	参考資料

『テイの研究』					
関連URL	わたしのちょっと面白い話コンテスト My funny talk contest [http://www.speech-data.jp/chotto/]				
授業時間外学習	グループワーク（グループ発表の準備）のため、グループの仲間と協力して勉強する必要があります。 Students are required to collaborate with their group peers to research and prepare for group presentations, both during and outside of class time.				
実務・実践的授業 ※○ は、実務・実践的授業であることを示す。					
授業へのパソコン持ち込み 【必要/不要】	必要 Yes				
連絡先（メールアドレス等）	全学教育HP掲載の「全学教育科目授業担当教員連絡先一覧」を参照。				
その他	留学生と日本語母語話者学生の割合は、留学生1：日本語母語話者学生1～2を考えています。 留学生の人数に比べて日本語母語話者学生が多い場合は、くじ引きにより履修者を決定します。 The ratio of international students to native speakers of Japanese will be 1:1~2.				
更新日付	2025/01/07(火)				

1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。1単位の修得に必要な学修時間の目安は、「講義・演習」については15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間、「実験、実習及び実技」については30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間です。